

1

東日本大震災

田原市の人的支援の状況

Support

発 生から1年が経過した東日本大震災。津波被害があまりにも甚大で広範囲に及ぶため、復興活動が思うように進んでいないのが現状です。

田原市では、震災発生直後の緊急

消防援助隊派遣をはじめとして、現地の要請に合わせさまざまな分野の職員を派遣してきました。これまで

の派遣者数は73名を数え、現在でも、東三河災害支援隊の一員として、宮城県南三陸町への人的支援を継続しています。4月からは、2名の職員が3か月間現地に滞在し、集中して復興支援にあたる予定です。

◆南三陸町派遣者の体験記

(男性主査・1月31日～3月1日)

・課税のための家屋調査業務を行ってききました。役場の方も「10年に1度の寒さ」と言うほどで、日中でも氷点下となる日があり、外での業務は大変でしたが、地元の方の優しい言葉に元気をもらいながら乗り切ることができました。

・被災地は、1年経ってもがれきが集積されただけで、多くの被災者は、56か所の仮設住宅で不慣れた生活をしています。こうした状況を自分の目で見て、改めて、早く復興が進むことを願わずにはいられません。

▼田原市被災地域支援対策本部(政策推進課内) ☎23局3507



▲南三陸町役場の仮設庁舎

2

愛知県広報コンクールで

「広報たはら」が2年連続受賞

Be Awarded

平

成23年度愛知県広報コンクールで、『広報たはら(12月1日号)』が市の部で入選しました。広報たはらの入賞は、昨年の奨励賞に引き続き2年連続。最近10年間では5回目の受賞となります。

審査講評では、「奇をてらわず、細部にまで目が行き届いた格調高い紙面」「一見地道な取り組みが、支持や



▲渥美半島の「古道」を紹介した特集記事を掲載

注目を集めることに期待したい」との評価を得ました。
▼広報秘書課 ☎22局0138

ぜひお求めください!

『たはら歴史探訪クラブ』単行本
=第1集を発売しました=



広報たはら紙上で好評連載中の『たはら歴史探訪クラブ』が単行本になりました。郷土の歴史を「楽しく・深く」知ることのできる「知の財産」として、あなたの愛蔵書の1冊にしてみませんか。

- 収録 1～80話
(平成13年4月号～平成19年11月号掲載分)
- 装丁 A5/172頁/表紙カラー・本編モノクロ
- 販売価格 1500円
- 販売場所 市役所広報秘書課・田原市博物館・渥美郷土資料館
(市役所執務時間内・各施設開館時間内)
- お問い合わせ 広報秘書課 ☎22局0138